



地域での暮らしを支える取組み **だちよう倶楽部**

小茅野自治会で出前ふれあいサロンを開催!



まずはみんなで体操



「今日はたのしかったで」
「聞賀ふれあいサロン」

今月は、12月14日(水)、聞賀公民館ではじめて開催された「聞賀ふれあいサロン」の取り組みを紹介します。

聞賀自治会では、高齢者の介護予防や見守りを目的としたサロンの実施に向け、自治会長や福祉委員、民生委員を中心に9月から準備を進めてきました。当日は、参加者や運営スタッフ29名が集まり、洗濯ばさみやボールを使ったゲーム、体操やミニ喫茶などで楽しみました。



「今日はありがとうございました。次回もぜひ参加して下さい」と代表福祉委員の仲井さん

社協では本年度からの新規事業「限界集落化していく地域での福祉活動の推進」の取組みとして12月13日(火)、小茅野自治会で出前ふれあいサロン『だちよう倶楽部』を開催しました。小茅野自治会は、世帯数が13世帯、人口23名で市内でも高齢化率の高い自治会です。

この日は、今秋改修工事されたばかりの小茅野公民館に8名が集まり、午前中は健康チェックやゲーム、昼食をはさんで午後からは、脳トレ、カラオケなど、笑いの絶えない和やかな一日を楽しみました。



洗濯ばさみを使った「じゃんけんピン取りゲーム」で思わず笑顔がこぼれます

「今日はたのしかったで」「今度はいつあるんや」「ほんまよう笑わしてもらた」との声に、スタッフの顔には充実感と安堵の表情が浮かんでいました。ふれあい喫茶にも積極的に取り組んでいる聞賀自治会。今回をきっかけに、サロンや喫茶等聞賀にあった福祉活動が進められることを期待します。

読者の感想より

私は「やいはちトピックス」を一番楽しみにしています。次にクイズが、頭の体操になっています。(一宮町 女性)